

立体を真横から見た図を平面図にしてみます。(図 1)

図 2 のように直角三角形(赤)を考えます。

斜辺を 10cm, 残りの辺が 8cm と xcm として  
三平方の定理を使います。

$$100 = x^2 + 64$$

$$x^2 = 36$$

$$x = \pm 6$$

$$0 < x \text{ なので } x = 6$$

よって水面までの高さは  $6 + 5 + 5 = 16$   
となります。

図 1

